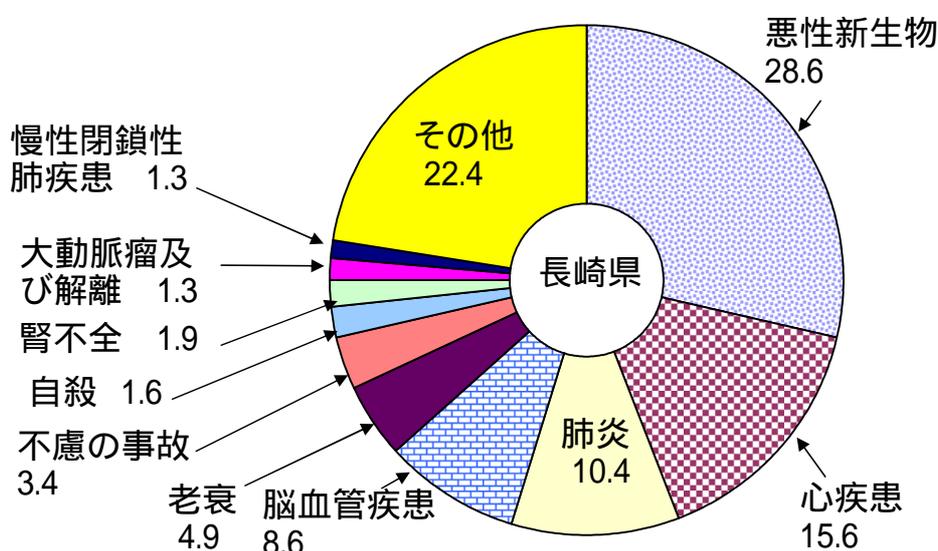
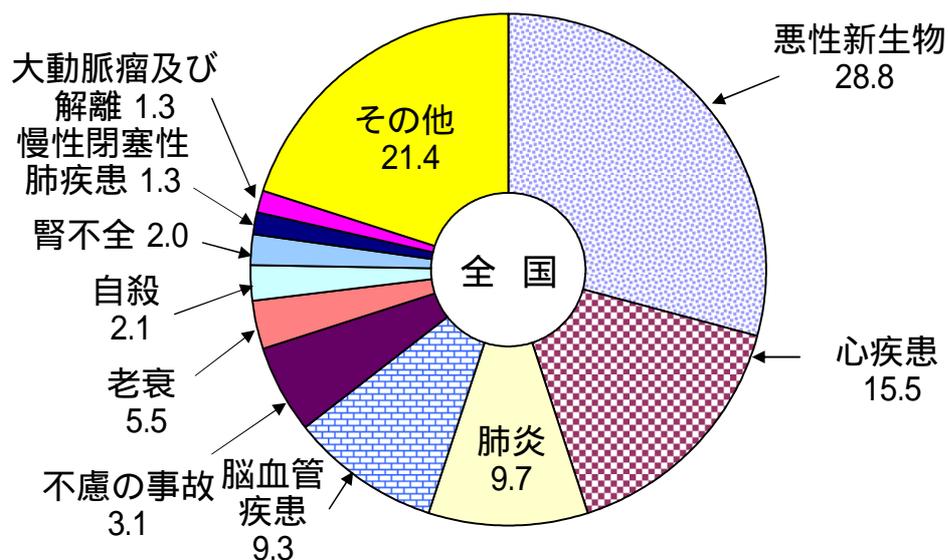


死因別死亡の概況



平成25年における本県の死亡数は、17,225人で、前年より441人増加し、人口千人当たりの死亡率でみると、12.4で、前年よりも0.4ポイント高くなっている。

なお、全国平均10.1との比較では2.3ポイント高い(全国順位12位)。

死亡順位・死亡率(人口10万対)を主要死因別にみると、第1位 悪性新生物(ガン) 354.1、第2位 心疾患192.9、第3位 肺炎128.3、第4位 脳血管疾患106.3、第5位 老衰60.5であり、いわゆる三大死因の一つである脳血管疾患を肺炎が上回った。

なお、本県の悪性新生物による死亡率は、全国の290.3に比べて63.8ポイントも高い(全国順位5位)。

悪性新生物の死亡率(人口10万対)を部位別にみると、男では、肺85.1、胃52.3 肝32.4の順に高く、女は、肺32.1、胃25.8、結腸25.5の順となっている。

(県福祉保健課)